

「Fukuoka Art Next」今月のアート（8月）

福岡市は、彩りにあふれたアートのまちを目指して、暮らしのなかで身近にアートに触れる機会を増やし、アーティストの成長支援に取り組む「Fukuoka Art Next」を推進します。

市民がアートを身近に感じられるよう、福岡で活躍しているアーティストの作品を、月初めの定例会見において紹介します。

■ アーティストについて

谷尾 勇滋（たにお ゆうじ）

1978年広島県生まれ、福岡市在住。2001年九州産業大学芸術学部美術学科絵画科卒業、2003年九州産業大学大学院芸術研究科修士課程美術専攻修了。2000年より写真作品及び写真を用いた美術作品を制作。2022年「Fukuoka Wall Art Project」入賞。

■ 作品について



作家名 : 谷尾 勇滋
作品名 : abstraction scape
(あぶすとらくしよん すけーぷ)
制作年 : 2022年
材質技法 : 写真、顔料プリント
サイズ : 47×66 (cm)

福岡の街並みを撮影した風景の上に、赤色と青色の不思議な模様が重ねられた写真です。作家によると、風景は福岡市役所からの眺めであり、模様は福岡市内の新興住宅地の写真を基に、コピーや拡大などの加工を行って作ったものだそうです。水平に広がる風景に、垂直に伸びる模様を重ねることで、作家は都市が増殖・拡大するさまを表現しようとしてしました。風景に模様を重ねたことでできる、縦・横方向への動きや、対比する色の組み合わせは、絶えず変化し続ける福岡の今を表わしているようです。

【お問い合わせ先】

経済観光文化局美術館学芸課 担当：山木、岩永

TEL：714-6054 FAX：714-6145 E-mail：yamaki@fukuoka-art-museum.jp